

# 授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ○ 問題意識を持たせる     | ○ 自分との関わりで考えさせる      |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 人間としての生き方について考えさせる |

## 中学校3年生 B-(9)相互理解、寛容「しあわせ」のポイント

<ねらい> 個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

①<問題意識を持たせる> ②<自分との関わりで考えさせる>

・「しあわせ」だと思ふことについて、人それぞれの考え方や感じ方があることを確認し、本時の課題に対して問題意識を持たせる。

(発問) ○あなたにとって、「しあわせ」だと思ふのはどのようなときですか。

③<自分との関わりで考えさせる>

・心情スケールを用いて、自分の考えを明確にさせ、自分と異なった考えを理解することについて自分との関わりで考えさせる。

(発問) ○自分と異なった考えを持っている人がいたら、理解することはできますか。

・それぞれの違いを認めることについて、日常生活を想起させ、自分との関わりで考えさせる。

(中心的な発問) ◎それぞれの違いを認めるためには、どのようなことを考えていけばいいと思いますか。

④<多面的・多角的に考えさせる>

・補助発問を通して、自分とは異なる立場から再度考えさせる。

(補助発問) ●「理解できる」と思ふ人は、「難しい」と思ふ人の意見を聞いてどう思いましたか。

・補助発問を通して、個の尊重と相互理解の両面から考えさせる。

(補助発問) ●みんなのことを考えると、それぞれの意見を言わない方がいいのでしょうか。

⑤<人間としての生き方について考えさせる>

⑥<自分との関わりで考えさせる>

・ものの見方や考え方について考えたことを振り返ることで、人間としての生き方についての考えを深めさせる。

(発問) ○本時を振り返り、ものの見方や考え方について考えたことを書きましょう。

展開

終末